



明けましておめでとうございます。調布市剣道連盟会長宮田です。

今年は元旦早々、西調布体育館から竹刀の響きを聞くことができました。実に4年ぶりの元朝稽古の実施となります。参加頂いた会員の皆様には新年早々気持ちの良い汗をかいて頂いたものと思います。特に、3日間続けて稽古をされた方々には、今年の剣道向上へ向け良いスタートとなったことでしょう。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、一昨年までの with コロナの状況から、**脱コロナへと変化する1年**となりました。各種行事に関しても、**調布市剣道大会、剣道研修会、市民体育祭、各昇級、昇段審査会、少年部合同強化稽古等、ほぼコロナ前**の内容で、**年間計画に沿って実施することができました**。各行事へご協力頂きました会員の皆様に改めて御礼を申し上げます。

昇段関係も、**三段以下審査は全員合格、四五段、六七段も一定の結果が残せた一年**がありました。昨年も書きましたが、今年こそは、これまで調布剣連で実現できていない、八段合格、女性七段合格の朗報が聞かれる事を期待したいと思います。

また、年は変わりましたが **23年度内の行事として2月11日には、「第35回剣道百面立切誓願試合」を実施**いたします。こちらもコロナ前の形式での実施を予定しております。残念ながら、西調布体育館の閉館予定に伴い、今回の開催をもって、長年の歴史に幕を閉じる予定です。最後を飾るにふさわしい気迫に満ちた大会となるものと期待しております。開催にあたりましては会員の皆様のご協力も必要となりますので、よろしくお願い致します。

さて、今年は辰年です。十干（じっかん）と干支の組み合わせでは「**甲辰（きのえたつ）**」となります。「甲」は十干の最初、「命の始まり、ものごとの始まり」を意味します。たっぷりと養分を蓄えた、固い種子が芽吹くときです。十二支の5番目にあたる「辰」は、「陽の気が動き、草木がなびいて大きく成長して、形が整っている様子」という意味になるそうです。ここから辰年は、物事が成長・発展し、形を成す、そんな年になるといわれています。従って、「甲辰」の今年は、「これまでのコツコツと蓄えられた学びが芽を出し、活力に満ちた草木のようにすく々と伸びて、努力が花を咲かせる」という年になりそうです。それにちなみ、調布剣連の発展を願い、未熟も顧みず「**昇龍**」と書いてみました。（正直に言うと、個人的には2年連続最下位に沈んだドラゴンズの躍進を期して書いています…）皆様の剣道躍進の一年となる事を願っております。



末筆ではございますが、会員の皆様とご家族の、今年1年のご健勝とご多幸を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお願い致します。